

議会のあり方調査特別委員会・広聴検討分科会記録	
開 会 年 月 日	平成30年 2 月 13 日
開 会 時 刻	午前11時49分
閉 会 時 刻	午後 0 時16分
出 席 委 員 名	◎宿 典泰 ○上村 和生 井村 貴志 野崎 隆太
	野口 佳子 吉岡 勝裕 黒木騎代春
	西山 則夫 議長
欠 席 委 員 名	山本 正一 中山 裕司
署 名 者	—
担 当 書 記	山口 徹
審 査 案 件	1 今後の基本的な進め方について
	2 皇學館大学生との広聴活動について
説 明 者	議会事務局調査係長山口、調査係野村主事

会議の概要

宿分科会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り「今後の基本的な進め方について」及び「皇學館大学生との広聴活動について」を議題とし、協議した内容は、次のとおりでした。また、昨年開催された皇學館大学生との意見交換イベントのアンケート結果が、別添、参考資料として配付された。

協議の内容

1 今後の基本的な進め方について

はじめに、宿会長から昨年の改選後 12 月に、引き続き議会のあり方調査特別委員会が 3 分科会で継続されることになり、先月 1 月 16 日に企画調整部会が開催されたことが報告された。その中で各分科会の「今後の基本的な進め方について」の協議があり、本分科会のこれまでの具体的な調査・検討項目は、「議会アンケート」、「議会報告会・意見交換会」、「広聴機能のあり方・仕組みづくり」、及び「その他広聴に関すること」であり、これらの項目を今後も引き続き検討・協議し、議会の広聴活動として、市政へ反映できるよう、他の分科会とも連携を図っていくことが必要である、と報告した旨の説明がされ、この内容を確認し、了承された。

2 皇學館大学生との広聴活動について

次に、「皇學館大学生との広聴活動について」を議題とし、宿会長から昨年、分科会の中で意見交換会のやり方等をご協議いただき、選挙権が 18 歳以上に改正され、若い世代に議会や行政に関心をもってもらう新たな視点で取り組んだこと、皇學館大学の学生との交流（意見交換）を今後も継続することを想定し、先月 1 月 19 日に会長と前副会長の野崎委員、及び事務局担当の三人で大学へ出向いたところ、大学側としても事業の継続に非常に前向きであることを確認した旨の報告があった。

次に、昨年はなかなか意見交換をすところまで至らなかった点をふりかえり、今後は、広聴活動の一つとしてより良い交流が図れるよう、意見交換の具体的なテーマや手法について、議員と学生が協同で協議していく必要があることから、早速 2 月 23 日金曜日の午後に新たなメンバーの顔合わせを兼ねた打合せを行うことが提案され、了承された。

なお、今回の大学訪問については、今後の意見交換のテーマや手法を協議する場ということで、本分科会委員のみで出向くこととし、グループ分けなど、当日の段取りを正副分科会長に一任することが諮られ、了承されたため、追って 23 日の開催案内をすることとし、閉会となった。

上記署名する

平成 30 年 2 月 13 日

分科会長

平成29年8月21日 意見交換イベントのアンケートまとめ

【一般参加の学生からのアンケート】

Q1. イベントに参加したきっかけは？→友人からの紹介が大半を占めていた。

Q2. 今回のイベントで感じたこと

<良い点>

- ・議員、議会を身近に感じられた
- ・貴重な体験ができた、新鮮だった
- ・質問コーナーによって議員を身近に感じられた
- ・議員とは堅そうなイメージがあったが、そうでもないと思った
- ・議員に自分たちの声が届けられてよかった

<悪い点>

- ・資金援助というキーワードがあったが、それが具体的な内容ではなく若者の考えと一致しているのかわからない
- ・短時間で行うには難しい内容だった

Q3. 次回も参加したい？

はい×11人、いいえ×1人、どちらともいえない×13人

下記理由

<はい>

- ・ほかの議員も参加してもらえるのであれば。
- ・貴重な経験になったから
- ・有意義な時間を過ごせたから

<いいえ>

- ・時間が長いから

<どちらともいえない>

- ・今回のイベントはあまり良いものではなかったから
- ・テーマが広すぎて深く掘り下げられないから
- ・フリップに書くコーナーは良かったが、テーマに興味を持ってない
- ・話が難しく分からなかった
- ・自分の住んでる地域のイベントなら行きたい

Q4. イベントの存在を知っていたか

はい×4人、いいえ×19人 →多くの人が知らなかった

Q5. 聞いてみたいテーマ（案）は？

- ・少子高齢化
- ・同性愛者
- ・市内の空き家問題

Q6. イベントを企画した学生への感想

- ・司会の人達はもっと練習を！
- ・メンバー同士の連携をもっととってください
- ・明るく良いイベントだった
- ・プレゼン時間が短い
- ・議員を身近に感じられた
- ・普段話を聞けない人の話を聞いて有意義な時間だった
- ・多くの議員に話を聞いて刺激的だった
- ・直接議員に話を聴けるメリットを生かして欲しかった

【CLL 活動メンバーの感想】

- ・次にイベントをするなら百船でグループトークをしても良い
- ・学生から呼ぶ議員を指名しても良いのでは？
- ・議員と学生（参加者）の隔たりを無くしたい
- ・先にプレゼンテーマを提示しておくとも良いかも
- ・本物の議会のように言い合うシーンをつくりたい

【議員さんからのアンケート】

1. プレゼンの時間について

- 議員さんからは適切・短かったという意見が多かった
ー参加者としては長く感じた
→プレゼンの人数を減らして時間を長くするべき？
→参加者が長く感じるのはテーマが統一されているうえに、
人数が多くてプレゼン時間が細切れだからかも

2. イベントの感想

- テーマを絞って欲しい
- 形式的で内容が薄かった →次回はテーマを絞る
- 議員全員参加が望ましい →次回はどうかを検討
- グループ分けをして欲しかった
→次回はブースに分ける、議員さんをローテーションするなど考える

3. 改善点など

- プレゼンのテーマを統一してほしい
→似たような話になってしまうかも…
- 班分けをして欲しい
→ブースに分ける、議員さんをローテーションなど
- 趣旨に戻るべき
→もう少し学生との関わりが欲しかった？
- 5分で詳しく説明するのは難しい
→時間配分を考える
- 出番のない議員がいた
→全員参加できる方法を考える
- 内容や役割はもっと早く知らせたい
→打ち合わせ、リハーサルなどが必要
ミーティングに参加してもらう

4.次回やりたいこと

- 学生の意見、考えを生で聞きたい
→実行委員のプレゼンをするなど
- 議題「学生の目線の伊勢の課題」
→あらかじめ学生目線の伊勢の課題を議題として提示
- 個別テーマにすると質問も詳しいものになる
→班分けをする
- 大学生のプレゼンが欲しい
→イベントではなくミーティングの際に
- 意見交換がしたい
→班分けをする

質問タイム

- 議題「若い方々が伊勢に期待すること」、「学生ならではのまちづくり」
→学生が発表する？
- 模擬議会
- 若者はなぜ政治に参加しないのか→学生だけでなく議員からの質問もあり
- 時期がよくない→来年度開催するなら後期に行う

まとめ

- 班分けをする
ブース、ローテーション
- 学生の発表
ミーティングのときでも良い
- リハーサル、ミーティング
議員さんにも来ていただき一緒に相談する
- 前半期を打ち合わせ、後半期をイベントにしてもいいかも
- イベントを一日かけてのものにする、別日に分けるなどで時間を調節

感想

- 班分けをして欲しい等の意見が多かったので、議員さんの考えていたイベントと実際に行ったイベントに食い違いがあったのかな、と思いました。
- 次もやってほしいとの意見や次回の議題を考慮くださったことなど、議員さんも積極的であることがわかって良かったと思います。
- 一般参加者アンケートについて、議員さんとの距離が縮まったと感じる人が多くて安心しました。リハーサルや準備不足などは、今回初めてのことだったので、今後回を重ねるごとに良くなっていくと思います。プレゼン時間の長さや、学生の話も聞きたいという議員さんの意見なども、班分けなどの解決策が出たのでよかったです
思います！